

【詳細】

後ろ向き研究 情報公開

1. 承認番号	31-23
2. 課題名	糖尿病治療薬の違いによる糖毒性解除への影響に関する研究
3. 研究予定期間	令和元年10月2日～学会発表終了1年後
4. 研究の概要	<p>(目的)</p> <p>糖毒性とは、高血糖が持続することにより、膵臓からのインスリン分泌の低下およびインスリン抵抗性が高まる病態と考えられている。糖毒性に伴う膵β細胞障害は早期の場合、可逆的・機能的変化であるため、入院時高血糖患者の血糖コントロールにおいては糖毒性の解除が最初の目標とされる。糖毒性解除には一時的なインスリン導入が、臨床で広く行われている。しかしながら、インスリン増量によっても血糖低下に時間を要する症例も多い。我々は、高血糖による入院前の糖尿病治療薬使用歴の違いが糖毒性解除へ影響している可能性を考え、治療難渋例のスクリーニングのためにも、その詳細な調査が必要であると考え。</p> <p>本調査で得られた結果を、医療スタッフ間で共有すると共に、学会発表等通じて今後の糖尿病薬物療法に生かしたいと考える。</p> <p>(対象および方法)</p> <p>対象は2017年4月～2019年3月までに当院総合診療科へ糖毒性解除を目的に入院となった患者とする。調査方法は入院時の持参薬(経口糖尿病薬)、インスリン単用量、血液検査・バイタル等について電子カルテを用い後ろ向き調査を行う。</p>
5. 利益相反	資金援助は受けておらず、利益関係はない。
6. 連絡先	盛岡赤十字病院 薬剤部 丹代 恭太 Tel 019-637-3111(内線 411)